

上柴西小学校

秋季大運動会



ふかや

市議会だより 第50号

9月定例会号 目次

9月定例会の概要	2
一般質問	4
委員会報告	14



上柴西小学校

平成19年11月1日発行

発行 深谷市議会

編集 ふかや市議会だより編集委員会

開会中は、議会テレビ中継を市役所本庁舎1階市民ホールでご覧いただけます。

平成18年度 一般会計・特別会計決算認定!

平成19年深谷市議会第3回定例会は、9月3日から25日までの23日間の日程で開かれました。

決算認定12件、条例の制定3件、条例の一部改正5件、補正予算6件、人事案件1件、そのほか1件の28議案が市長から提出され、また、議員提出議案1件、市民からの請願3件が審議されました。

これらの議案についての審査結果は、13ページの表のとおりですが、ここでは主な質疑の要点を報告します。

9月の定例会では、こんな質疑がありました



◆議案第54号 平成18年度深谷市一般会計歳入歳出決算認定について
この議案は、歳入総額462億1810万9064円、歳出総額408億944万9069円、歳入歳出差引額53億2365万9995円となった決算について、その認定を求めるものです。

問 平成18年度の本市の財政力指数は0.796であるが、当局はこの数字をどう考えているのか。

答 財政力指数については、基準財政収入額が需要額を上回っていただければ、交付税をいただかなくてもよい不交付団体になります。本市については0.796と、県下で真ん中よりやや下ぐらいの数値となっております。今後、企業誘致や収納率向上など税収増を図ってまいりたいと考えております。

問 循環型農業推進事業の内容について聞きたい。

答 主な内訳として高品質堆肥製造施設の修繕に4070万円、施設の管理運営委託に2960万円ほどかかりました。

問 修繕費4070万円の具体的内容について聞きたい。

答 主なものとして堆肥製造に関する機械の修繕に2240万円、汚水処理に関する機械の修繕に1660万円ほどかかりました。

◆議案第75号 平成19年度深谷市一般会計補正予算(第1号)

この議案は、予算現額に歳入歳出それぞれ16億4360万4千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ426億9860万4千円とするものです。

問 (仮称)福祉交流センター! 教育研究所整備事業の内容を聞きたい。

答 国道17号沿いの旧消防署跡地に福祉交流センター・教育研究所を建設するため、そ

の設計にかかる経費を計上したものです。この施設は、現在問題となっております軽度発達障害、いじめ、不登校などの問題解決に向け、教育と福祉が連携して対応していく

ための拠点として位置づけられます。また、福祉交流センターにはボランティア活動の拠点として、ボランティアルーム、ボランティアセンター、点訳室、朗読・録音室等も整

備していく計画です。

問 建設に当たり各種ボランティア団体等から要望は聞いたのか。

答 今後、意見を聞いてまいりたいと考えております。

問 障害者施設助成事業では、古河スカイ株式会社からの寄付金を活用して障害者福祉施設の運営経費の助成を行うとのことだが、どのようなものに助成するのか。

答 市内障害者福祉施設の改築、修繕、備品購入等に係る経費に対し、限度額を定め助成していく予定です。なお助成に当たりましては、各施設から希望を募り、古河スカイ株式会社を含めた審査会において、それらを審査し決定していきたいと考えております。



◆◆人事案件◆◆

■深谷市公平委員会委員に小暮 功子氏

深谷市公平委員会委員唐沢美代子氏が、平成19年8月31日をもって退職されました。このため、後任として小暮功子氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

■人権擁護委員候補者に本田 嶺子氏

人権擁護委員本田嶺子氏の任期が平成19年12月31日満了となります。このため、引き続き同氏を推薦することについて市長から意見を求められ、審議の結果、異議のない旨回答いたしました。

請願の審査結果

請願第1号

深谷市に在住する外国人学校・民族学校の児童生徒の教育の機会を制度的に保障するための教育助成に関する請願
深谷市上野台278-3 石田 貞 ほか3名 (継続審査)

請願第2号

深谷市発注の公共事業に対する請願
深谷市長在家1726 株式会社新井工務店 代表取締役 新井 一好 ほか43名 (不採択)

請願第3号

中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書提出についての請願
深谷市町田277-24 公明党地区連合会長 須永 長次郎 (採択)

もったいない運動を始めよう！

加藤 利江

問 マイバッグ・マイふろしき・マイ箸運動の実施を。

答 昨年11月の産業祭でマイバッグの配布を行い、市民の方々にレジ袋削減の呼びかけを行ったところでございます。マイふるしき運動につきましては、目的がマイバッグ運動と同様であるため、今後、研究してまいりたいと思います。マイ箸運動につきましては、具体的にどのような取り組みが可能なか研究してまいります。

問 消費削減(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)・修理(リペア)以上4R運動の実施について。

答 市民の方々に対し、3R活動の呼びかけを進めてまいりました。リペアにつきましては3R活動の一部として取

り組んでまいります。

問 もったいない運動推進室の立ち上げについて。

答 今後とも現在の組織体制の中で進めてまいります。

問 川柳コンテストを行ったかどうか、並びに、ステッカーを配布したかどうか。

答 川柳コンテストやステッカーの配布につきましては今後十分に検討いたします。

児童生徒の安全確保について

問 こども110番の家に対応マニュアルを配布したら。

答 PTAで配布しているもので、教育委員会として考えておりません。

問 年に1〜2回講習会を実施したらどうか。

答 あまり負担のからない方法で協力いただきたい。



公共下水道受益者負担金地域格差是正の再編について

清水 健一

問 新深谷市が誕生したが、負担金には地域格差があり負担金徴収猶予基準もバラバラな状況である。合併後3年を目途に再編することだが、進捗状況と、今後審議会等を設けて市民の皆様の意見を取り入れていく考えがあるか聞きたい。

答 現在は資料収集、調査作成の段階であります。再編に向けて審議会を設けて検討していきたいと思っております。

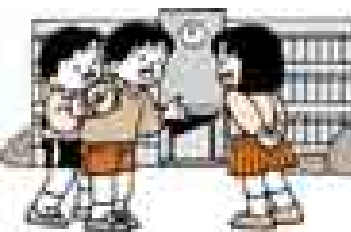
問 市有地売払いの実施要綱について、市民の皆様の大切な財産を公平公正に売却するために、申し出があつてから契約までの期間を決めて仕事をすべきでは。

答 土地によっては複雑な経緯があり、ケースバイケースであり一律に期間を区切るの

は難しいです。

問 文科省の「ゆとり」と「学力」のはさまに揺れてきた新学習指導要綱などを見ますと、深谷市の教育関係者も落ち着いて仕事ができず、子どもたちにも良い影響を与えないのではないかと、深谷市独自の教育基本条例制定の考えはあるのか、また、若いお母さんが子育てで悩み育児放棄や児童虐待なども社会問題になっているが、親学講習などの実施について聞きたい。

答 文科省が策定中の教育振興基本計画に沿って計画を策定していきます。今のところ条例制定は考えておりません。公民館で親学の講習などを行っておりますが、ご希望があれば「親学出前講座」等にも講師を派遣いたします。



学校給食の地産地消について

馬場 茂

問 農産物の地産地消を推進する活動の一つで、年4回地元農産物を学校給食に提供しているが、回数は増やせないか。また食材のすべてを地元農産物ではまかなえないか。

答 平成18年度は、小中学校合わせて29校に対しスイートコーン・ブロッコリー・ほうれん草・ネギを1回ずつ計4回提供しました。今後も予算の許す範囲内で提供できる回数を増やすことができるか検討してまいります。また、給食の食材は、地元生産者・農協・地元の業者等から、地場産物を積極的に購入しています。地元農産物はとれる種類と時期に制限があるので、すべてを給食食材として使用することは困難ですが、学校等とより一層の連携を図り地産地消を進めてまいります。

高齢者・障害者に対する福祉政策の取り組みは？

吉田幸太郎

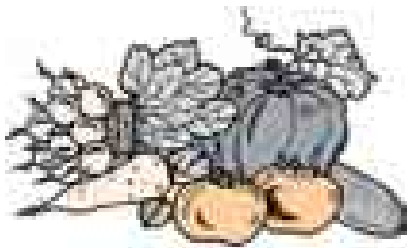
地域包括支援センターについて

問 今年4月、高齢者を対象とした介護・福祉・健康・医療などを総合的に支えるために市内4カ所に開設されたが、その現状と行政との連携はどのようになっているのか。

答 介護に関する相談や介護予防プラン、ケアプランの作成などを行っております。また円滑な運営ができるよう定期的に市と連絡会議を開催し連携を図っております。

問 支援センターが設置されたことや業務内容等の広報活動はどのようになっているのか。

答 市の広報に掲載し、自治会、民生委員への説明や医療機関、介護関係機関にも周知をお願いしております。さらに福祉健康まつりでもPR活



問 防災訓練などに参加できないお年寄りや、体の不自由な人などに対する防災対策はどうなっているのか。

答 一人暮らしのお年寄りに対しては、火災報知器や家具の転倒防止金具などを無料で配布しています。今後も自治会等とも連携し、自主防災組織の拡充を目指します。

精神障害者退院促進事業について

問 本事業の深谷市としての考え方、現在の進捗状況はどのようになっているのか。

答 本事業は県の主体事業であります。市では平成23年度末までの精神障害者の地域生活への移行目標を17名とし、平成20年度に設置が予定されている「大里地域自立促進支援協議会」において精神科病院・保健所・精神保健センター等関係機関と連携強化を図り、支援に取り組んでいきたいと考えております。

問 退院後の受け皿づくり、総合的なネットワークづくりはどうなっているのか。

答 受け皿は十分でないと考え、NPO・ボランティアの育成を図り、支援体制の仕組みの構築を考えてまいります。



名誉市民・岡部物産館役員に

吉岡 信彦

またもや伊藤幸徳氏か？

問 「岡部道の駅」を運営する(株)岡部物産館は、本年6月開催の役員会において、新井市長の強力な推薦により、◎深谷市名誉市民 ◎シルバー人材センター副理事長 ◎新井悦二代議士の岡部地区後援会長

である伊藤幸徳氏を、岡部物産館役員に再選した。敬老精神旺盛な新井市長ならではの、創業時の社長であったにせよ、80歳を過ぎた方の再選にはそれ相応の理由があるものと思う。推薦理由を聞きたい。

答 外郭団体の人事のため、市は答弁する必要がありません。行政は、もうかりそう



市営戸森住宅

市営住宅への緊急避難は？

ら何をやってもよい訳ではない。「岡部道の駅」に鮮魚センターを作るとの噂を聞くが事実なのか？

答 そういうことはありません。火災等の被災者が、いつでも入居できるように常時何戸か空けておけるのは評価する。しかし、その申請方法は通常の入居と全く同様であり、連帯保証人が2人いなければならないとされている。緊急時に、被災者がその条件を満たすのは大変な困難を伴うものと考えられるので、速やかに入居できるよう、簡略な申請方法に改めるべきではないか。

答 ご指摘の趣旨を踏まえて、申請方法の見直しを行ってまいります。

行財政改革の本気度を問う

石川 克正

問 市財政—今後の行方は。今後の本市財政状況を展望すると、税収の伸びは期待できず、合併に伴う財政面での優遇措置も段階的に終期を迎えます。まず、合併後の格差是正措置として特別交付税上乗せ分7億5千万円が来年度で終わります。また、普通交付税の包括的な措置として基準財政需要額の毎年度2億5千万円増額分も合併後5年で終了します。さらに合併特例措置として合併算定替の優遇額16億円（19年度の場合）が合併後11年目以降に段階的に減額となり終了に向かいます。一方、歳出においては扶助費の伸びが毎年3〜4億円ずつ増加傾向にあります。また、施設の老朽化に伴う建替えなど、大規模な財政負担を伴う対応も急務となっております。

す。そのため行財政改革の推進をいち早く進めてまいります。

問 コスト意識に根ざした行財政運営を可能にするために、従来の予算重視型から決算主義的な考え方に転換しないか。

答 年々財政状況が厳しくなる状況下では決算重視の編成作業へとシフトしていく必要があると考えます。今年より包括的な（予算の）枠配分制度の導入に向けて取り組みを始めました。さらに、実効性のある行政評価制度の確立を目指しています。併せて評価結果の予算編成への活用を組みめぐりにも配慮してまいります。

高齢者の転倒防止について

柴崎 重雄

問 高齢者の寝たきりのきっかけの多くは転倒による骨折である。バランス能力鍛錬に太極拳やヨガなどが効果的であると云うが、深谷市の転倒防止対策について聞きたい。

答 平成4年度より保健センターで健康増進教室、自治会とのタイアップによる転倒予防教室、体力向上健康づくり教室、老人福祉センターでの転倒予防体操等、順次開催し参加者の体力向上に好評をいただいております。また、生活環境の改善のために有資格者対象の住居改修工事費用の補助も行っております。

問 誰にでもわかりやすいごみ収集所の表示について。ごみの出し方で苦情を耳にすることが多くなった。ルールの無知、無理解を防ぐため

表示改善を考えられないか。

答 ごみの分け方、出し方の啓発パンフレットを自治会未加入者に、外国籍の方には4カ国語のものを配布し啓発に努め、また収集所表示もよりわかりやすくしてまいります。



ごみ収集所

電柱、自動販売機などにわかりやすい住所表示があれば

問 現在地・住所の表示は自分の位置・目的地の認知に便利であり、緊急の場合の通報に非常に大事である。表示の増設は考えられないか。

答 119番受信時の災害地点決定は基本的に通報者の聞き取りですが、電話の発信地表示システムの導入により自動表示が可能となりました。このことから、より迅速で確実な受信体制に努めてまいりたいと考えております。

環境型社会づくりに向けたごみのリサイクルについて

小川真一郎

問 今年の夏は40度を越える記録的猛暑となった。まさに世界全体で叫ばれている地球温暖化を実感させられるものとなった。その原因となる温室効果ガスの排出やダイオキシン等の環境問題に影響があるもの一つに生活上必ず出されるごみというものがある。深谷市では現在、缶類、ビン類、ペットボトル、紙類の分別回収を実施しているが、リサイクル可能なプラスチック類は焼却処分されている。限りある資源の再利用や地球環境への負担軽減、ごみの減量のため環境省からプラスチック類も資源回収することが好ましいという指針が策定されており、市も早期に実施することが好ましいと思うが今後の方針を聞きたい。また、実施するとなれば開始年度と、

行政主体か民間委託による処理か聞きたい。

答 ごみ処理の施策を実施するにあたりましては、深谷市廃棄物処理及び再利用に関する条例に基づき、廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえ実施しております。プラスチックの分別回収は、今の分別を徹底すること、分別回収のコストが高額となるなどのため当面実施しないこととなりました。しかし、分別計画は3年ごとに見直しすることや、業務委託契約の終了なども考慮に入れて審議会に諮り検討していきたいと思っております。実施の形態については経費、施設整備等の多方面から検討し方向性を見出すべきものと思っております。

学校運営の正常化を

田嶋 均

問 マスコミ等によると、学校や担任に対し自己中心的不合理的な要望を持ち込む通称「モンスターペアレント」が増加し、教育現場の士気の低下や学級崩壊・学校運営への影響などが指摘されている。太田市では第三者機関を設置するという配慮をしているが、深谷市の現状と対応を問う。

答 保護者の価値観は多様化しており、様々な意見や要望が学校や教育委員会に寄せられています。基本的には保護者と学校が子どもの教育に関して、同じ方向性を持つことでそれぞれの責任を果たすことが必要ですが、学校として受け入れられないことについては毅然と対応することも必要と考えます。また、各小中学校幼稚園に係る様々な法律上の課題に関しては、市の顧問弁



道の駅おかべ

護士への法律相談体制を整備しています。

問 今後の道の駅のあり方は

答 道の駅は合併前のルールを踏襲しているため、管理運営方法に大きな差がある。今議会でも調査費800万円が補正計上されたが、駐車台数・売上げ等に基づく道の駅の安全性に対する市の認識と、今後の管理運営の方向性を問う。

答 合併に伴い、旧3町にあった道の駅を擁することとなり、特に岡部と花園は全国でも有数の道の駅としてにぎわっております。管理運営はそれぞれ違っており、駐車場についても不足しているという要望もあることから、利用客の安全性の確保や、諸条件を踏まえて、市としては前向きに検討・対応してまいります。

安心安全の街づくりについて

富田 勝

問 深谷市防犯協会はどのようになっているのか。周知は徹底しているのか。

答 警察の管轄にとられず全市民を対象として防犯活動を実施しています。自治会組織を基本に防犯推進委員によるキャンペーンやパトロールなどを実施し、年2回の地域安全ニュースの毎戸配布をしています。広報や公民館などにより積極的にPRしてまいります。

問 寄居地域安全防犯協会について今後の考えは。

答 深谷・寄居両警察署と連携が取れていますので活動には支障がないと考えます。今後の両防犯協会の組織のあり方につきましては、両警察署並びに寄居町と協議してまいります。

放送要望についての判断は。最近では「うるさい」との苦情が多くなっています。警察署の放送要望については管轄区域を確認しながら放送しています。人命に係ることを主体に深谷市防犯行政無線局運用細則に基づき判断しています。

問 放送塔の耐震停電については。

答 放送塔は耐震構造ではありません。バックアップ電源により24時間以内は作動可能です。

問 聞き取りにくい、放送ができなくなったときの対応は。

答 テレホンサービスにより確認できます。広報車や自治会を通しての情報伝達等を考えています。今後デジタル化に向かう中でその他の機器等について検討してまいります。



防災無線塔



総合支所への対応と対策について

松本 政義

問 総合支所における、担当「課」の減少への対応と対策について聞きたい。

答 平成19年の組織改正では、行財政改革を推進する中で、市全体として職員数の削減が求められており、本庁と総合支所で別々に同じような事務を行う不効率を解消することからも、事務の効率化と、住民サービス提供のバランスを考慮した結果、各総合支所から、産業振興課、都市整備課、下水道課、教育委員会事務局については廃止とし、本庁への集約を行っております。この組織改正に際しては、運動施設等の貸し出しは公民館で引き続き行うなど、市民の利用頻度の高いサービスにつきましては、利便性の点から混乱をまねかぬよう配慮しております。各総合支所総務課に

総合案内窓口を設け、市民の方がご来所の際にはご用件をお聞きして、必要に応じて本庁の各担当課に連絡、または調整、取り次ぎ等、親切・丁寧に対応するように指示しております。

問 総合支所の廃止や、その時期について聞きたい。

答 総合支所の段階的な集約については、行財政改革推進計画の中に盛り込まれております。職員につきましても今後10年間における削減計画を設けて、順次削減してまいります。総合支所の完全廃止時期につきましては、現在、決定されておりません。



花園総合支所

図書館の整備は

新井 慎一

問 郷土資料や郷土出版物の取り扱いはどうなっているのか。

答 随時受け入れておりますが、これまで管理上の問題もあり、開架書架に並ぶことなく、来館者に知られることがあまりありませんでした。貴重な資料や郷土のことを知っていたことは大切なことですので、今後は、新しく受け入れたものについては、できる範囲で管内への展示も行つてまいります。

問 利用者の調査・研究の相談にきちんと対応しているのか。

答 カウンターにいる職員が随時行っております。件数は平成16年度で5522件、17年度で6681件、18年度で6282件、主な内容としては、渋沢栄一翁に関するもの、



深谷図書館

深谷の祭りや方言、活断層についてなどです。今後さらに増えることが予想され、質問の内容も高度になってくると思われますので、職員の研修に力を入れると共に、専門的な知識を有する方々にボランティアとしてご協力いただくことも視野に入れ、過去の事例などもデータ化し、迅速かつ均一な対応ができるよう、計画してまいります。

市民と協働のまちづくり に市民大学設立を！

加藤 温子

問 新深谷市の指針、総合振興計画の施策を具体的に推進、さらに高齢者・団塊世代の生きがい、仲間づくり、地域社会への対応策として、より幅広い学習内容で学長は市長、講師は職員・地域の識見者で市民大学の設立の考えは。

答 保健センターによる市民健康大学、年6回を実施。公民館活動で川本福寿草大学、年5回を初め独自性を生かし高齢者のための講座を開講、生涯学習の推進に取り組んでいます。今後、地元に進出する大学も含め専門的知識の分析、分野の整理と共に、地域の専門的知識を持った人々とタイアップし、裾野を広げていく検討を、少し時間をいただきたいと思っております。

問 支所空室を大学の拠点に。10月より勤務時間内で公

自助、共助、公助、 まずは自治会の 自主防災組織づくり

宇多村春恵

問 食糧、その他の備蓄品の現状と防災倉庫、避難所の数は。

答 アルファ米、クラッカー、ビスケット、乾パン等で3万4386食、5000ペットボトルで水を4512本、資機材、日用品、料理機材他備蓄。旧深谷9公民館、岡部防災倉庫、川本・花園総合支所、ビッグタートル等18カ所、69カ所です。

問 200自治会があるが、自主防災組織ができていないのは、自分の命は自分で守る観点から達成の目標は。

答 現在33カ所、50%を目標にしております。

問 昔ながらの釜・かまどで煮炊きの経験はできるか。
答 自主防災組織の一環として貸し出しはできます。



防風林

問 防風林の保全に支援は。

答 深谷市森林整備計画の対象になっており、伐採、1ha未満の転用は市に届出、1ha以上は県の許可が必要です。地元の要望があり地権者の同意があれば防風保安林指定が受けられ税金の軽減や免除があります。解除は指定理由の消滅、目的に優先する公益上の理由が生じたときとなっております。

問 県条例で「ふるりの景観地」の指定があるが、市の考えは。

答 新市の総合振興計画の中で緑の空間の保全と創造として記述します。新たに緑の基本計画を3年を目途に作る中で市として何ができるのか調査研究していきます。

児童虐待発生予防 対策を市としては 何かしているか？

五間くみ子

問 厚生労働省が進める「生後4か月までの全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」が発行予防に効果があるとされ実施が求められているが、市としてはどう取り組んでいるのか。

答 現在は実施しておりません。それにかわる取り組みとして、妊産婦新生児訪問事業があり対応しております。

問 現在女子トイレの便器は5基すべて和式である。幅広い世代の方が利用するトイレとしてはサービスが不十分ではないか。数個を洋式へ改装できないか、市の考えは。

答 市民の皆様により身近で利用しやすい洋式便器へ、男子トイレ女子トイレあわせて数基を改装してまいります。



岡部公民館

問 岡部公民館中心の一体的改修期間中、多目的センター・本郷農業センターの利用について。

答 利用できるように、施設管理のJA深谷、シルバー人材等に対しまして調整します。

〈議会あれこれ〉議場について... 議場は、議会活動の中心となる会議の場所であり、議長席、議員席、議長席、議事事務局長席、演壇、市長席、教育長席、説明者席、速記者席などからなっております。

芝生グラウンドの適切な管理を

島田 信吉



川本グラウンド・ゴルフ場

年度は4月から快適な利用ができるよう管理していきます。

問 市内7カ所の市営グラウンドは、教育委員会が管理運営を行い、また、仙元山公園内の各競技場や多目的広場などは、公園施設として都市整備部の所管である。仙元山公園の多目的広場と市営グラウンドである、川本グラウンド・ゴルフ場等は、ともに芝生であり、芝の状況に応じて適切な管理が必要であるが、管理等の状況と、今後の川本グラウンド・ゴルフ場の管理の方向を聞きたい。

答 仙元山の多目的広場は、深谷市施設管理公社に委託し、公社職員が、冬芝の管理や部分的なものを含めて昨年度は38回の刈り払いを行いました。川本グラウンド・ゴルフ場の芝面には、目土入れや施肥のほか年6回の刈り込みを業者に委託しています。また、来

使用料格差の見直しを

問 仙元山グラウンドの多目的広場は無料であり、川本グラウンド・ゴルフ場は有料であるなど格差があり、早急な解消が必要である。また、川本グラウンド・ゴルフ場の使用料の免除規定の適用にも不合理があると考えられる。高齢者スポーツの奨励等の観点からも無料化を含め早急に見直すべきではないか。

答 今年度から使用料の適正な再設定と、類似する施設等の格差解消に向けて検討し、21年度から本格実施の計画があります。川本グラウンド・ゴルフ場の使用料は、旧川本町の条例を引き継いでいるものですがこの対象となります。

市独自介護保険利用料補助拡大を

清水 睦

問 介護保険料第3段階の利用料の補助率を4分の1から2分の1に引き上げられないか。

答 3段階の方への補助は、今年4月から開始したところで、近隣の市と比較しても高い状況であり、見直す予定はございません。



保険の留め置きも存在する。国保は中小業者や農家を含め、安定した収入を確保することが困難な方々が数多く加入している。加入者全員に少しでも速やかに被保険者証を交付することはできないのか。

答 滞納者の方で、来庁して納税誓約をいただいた方に、短期保険証を交付しています。誓約がない限り資格証明書を発行しています。

ごみの有価物のリユースについて

問 市独自で、ごみの有価物のリユースを行い、中古品を市民に供給することにより、環境対策に役立てないか。

答 現在の収集体制では、難しいところですが、先進地の例などを研究してまいります。

介護相談員派遣事業再導入へのお考えは？

中矢 寿子

問 介護サービスの質の向上を図るためスタートした介護相談員派遣事業は、誰もが安心して暮らせる地域づくりの礎になると思われる。旧深谷市で2年間導入していた介護相談員派遣事業を、新深谷市としては再導入する考えがあるか、聞きたい。

答 平成15年から17年の2年間に、介護相談員派遣事業を導入したことはありました。その後介護保険法改正により、平成19年春に開設された地域包括支援センターで、高齢者を総合的に支えることとなったため、市単独事業として介護相談員サービスを実施する考えはありません。

環境対策について問う

問 年々強まる地球温暖化。深谷市としての地球温暖化防

止対策、具体的な目標と取り組みについて聞きたい。

答 平成19年度中に策定される環境基本計画を受け、深谷市地球温暖化防止実行計画が、平成20年に策定される予定です。



深谷市本田一級河川の魚道整備を望む

永田 勝彦

問 吉野川には多くの魚が生息していたが落合橋の下に落差施設があるため上流への魚の遡上がない。早期に整備を。県に対し働きかけます。

答 吉野川には多くの魚が生息していたが落合橋の下に落差施設があるため上流への魚の遡上がない。早期に整備を。県に対し働きかけます。

吉野川万年橋の橋脚改良

問 万年橋は熊谷方面からの左折が困難、即刻改善を。

答 橋梁改良は難しい。道路改良の必要がある。県・地元と話し合いを進めたい。

深谷市瀬山信号機の改善

問 交通量の増大により高齢



瀬山正福寺北信号機

生活の中で一番身近なごみ問題、今後の方向性は？

江原久美子

問 合併後、それぞれの収集体系（収集回数、品目等）を本年から統一し、新たにスタートしているが、各地域の状況に差が出ている現状がある。市では自治会の一つの役割として、環境美化推進員を設けているが、各推進員の情報の共有化を進めることにより、排出抑制や分別の徹底がより図れるのではないかと。

答 現在自治会により行っているものであり、意見等については、自治会を通じて、または直接担当課へお願いしています。

問 現在、一般廃棄物は大里広域市町村圏組合で処理されている。したがって、深谷市内だけでなく、構成市町である熊谷市、寄居町、及び大里広域組合との連携が重要である。連携状況は？

答 深谷市においてはPR方法などを検討し、モラルの向上や分別の徹底を図っていきます。ペットボトル等については、各市町の差を縮めるとともに、基本に立ち返って市の独自性をもった効率的なものにすべく検討していきます。



業務核都市構想 進捗は？

三田部恒明

問 熊谷・深谷業務核都市基本構想―平成15年策定後の進捗状況は？ 深谷駅周辺地区での生活支援複合施設の整備を図り、広域交流拠点の形成を主目的としているが、現在策定中の総合振興計画における位置づけは？ 市民活動センター等との一体的整備を県へ逆提案し構想を前進させるべきと考えるが！

答 熊谷駅再開発ビル（ティアラ21）等については平成16年度中整備が完了。熊谷市の



テクノグリーンセンター、本市の生活支援複合施設及び仮称街かど広場の3施設については具体的な進展がない状況です。総合振興計画においては、良好な市街地の整備項目の中で自立性の高い都市圏の形成として位置づけられており、県・近隣市町と連携していくこととしております。市民活動の活性化・拠点づくりは協働を理念とする重要な施策であり、推進してまいります。

緑のカーテンづくり推進を

問 学校・公共施設・家庭へと広がりを見せている緑のカーテン。夏の日差しを遮る。省エネにも役立つ。長年の課題である教室の暑さ対策への解決策にならないか？ 試験的導入を！ また、ガーデンシテイ推進室を軸にネットワークづくりを！

答 緑のカーテンの効果を紹介し実施を希望する学校には積極的な指導と支援を行い広めてまいります。ガーデンシテイ推進室を軸にネットワーク化を検討し、また、教育委員会として校舎へフック等の整備を図ってまいります。

農作物生産における 鶏フン等の散布について

今村 三治

問 農作物生産においては土作りは不可欠だが、鶏フンや牛フン散布のときは事前連絡と、落下したフンは清掃する指導を市で願いたい。そうすればフトンやセンタクモノをほすのをやめるので。

答 広報等で指導いたします。畑から出た石ころや草は道路に置かないよう指導願いたい。



入札について

問 市内建設業者の苦悩を感じる。競争性の確保を図る観点と入札参加機会を与えることと最大限確保の基本はわかるが、脳ミンが少なれば少ないように努力してなるべく地元業者に仕事を与えるべきではないか。雪のときには黙っていても雪かきなどしてくれるので。

答 市内業者育成を図ります。

請願はこんな方法で…

- ①請願の件名（〇〇に関する請願）
- ②要旨・理由（内容は簡潔明瞭に。）
- ③請願者の住所、氏名及び押印（多人数で請願する場合は、必ず代表者を決めてください。）
- ④請願は、地方自治法の規定により、1名以上の議員の紹介が必要です。紹介

議員の署名または記名押印を受けてください。なお、紹介議員は、原則として当該請願を担当する委員会以外の委員にお願いしてください。
⑤請願の提出は、事務処理の都合上、定例市議会の開会3日前までに提出してください。詳しくは議会事務局へ。



請願を市議会へ提出する場合は、次の要領で作成し、議会事務局へ提出してください。

意見書

9月議会最終日に、議員提出議案として次の意見書が提出され、審議の結果、原案どおり可決されました。以下、内容を要約し掲載します。

中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書

中小企業、特に小規模企業において、事業承継がなかなか進んでいない。2007年版中小企業白書によると、2006年の企業全体の社長交代率は3・08%と過去最低を記録し、従業員規模別では、規模が小さいほど社長交代率が低下する傾向にあり、小規模企業における事業承継の難しさを示している。こうした、中小企業の廃業や事業承継をめぐる問題は、日本経済の発展を阻害する大きな要因となっている。中小企業の雇用や高度な技術を守り、事業承継を円滑に進めていくため、国においては、事業承継円滑化のための税制改正など必要な措置を講じるよう強く要望する。

9月定例会 議案等の審査結果一覧表

（【 】内は付託委員会）

◆決算認定・・・原案認定	◆条例の一部改正・・・原案可決	◆補正予算・・・原案可決	◆人事案件・・・原案同意	◆そのほか・・・原案可決	◆請願	◆議員提出議案・・・原案可決
議案54 平成18年度深谷市一般会計歳入歳出決算認定について 【全】	議案66 政治倫理の確立のための深谷市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例 【総務】	議案75 平成19年度深谷市一般会計補正予算（第1号） 【全】	議案81 深谷市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	議案74 深谷市土地開発公社の定款変更について 【総務】	議案第5号 中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書	
議案55 平成18年度深谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 【総務・市民環境産業】	議案68 深谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例 【市民環境産業】	議案76 平成19年度深谷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 【市民環境産業】				
議案56 平成18年度深谷市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について 【市民環境産業】	議案70 深谷市開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例 【建設】	議案77 平成19年度深谷市老人保健特別会計補正予算（第1号） 【市民環境産業】				
議案57 平成18年度深谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について 【建設】	議案72 深谷市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例 【福祉文教】	議案78 平成19年度深谷市国済寺土地画整理事業特別会計補正予算（第1号） 【建設】				
議案58 平成18年度深谷市深谷都市計画事業国済寺土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について 【建設】	議案73 深谷市公民館条例及び深谷市文化会館条例の一部を改正する条例 【福祉文教】	議案79 平成19年度深谷市武川中央土地画整理事業特別会計補正予算（第1号） 【建設】				
議案59 平成18年度深谷市岡部都市計画事業岡中央土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について 【建設】	議案60 平成18年度深谷市熊谷都市計画事業武川中央土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について 【建設】	議案80 平成19年度深谷市小前田駅北西部土地画整理事業特別会計補正予算（第1号） 【建設】				
議案61 平成18年度深谷市寄居都市計画事業小前田駅北西部土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について 【建設】	議案62 平成18年度深谷市浄化槽市町村整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定について 【市民環境産業】					
議案62 平成18年度深谷市浄化槽市町村整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定について 【建設】	議案63 平成18年度深谷市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 【建設】					
議案64 平成18年度深谷市下水道事業決算認定について 【建設】	議案65 平成18年度深谷市水道事業決算認定について 【建設】					
◆条例の制定・・・原案可決	◆条例の制定・・・原案可決					
議案67 郵政民営化法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 【総務・市民環境産業・建設】	議案69 深谷市古河スカイ障害福祉基金条例 【福祉文教】					
	議案71 深谷市大学等入学資金融資条例 【福祉文教】					

平成19年 第3回定例会 (9月)日程

3日(月)	本会議、会期の決定・諸報告 議案の上程・議案説明等
4日(火)	休会
5日(水)	休会
6日(木)	本会議、議案質疑・委員会付託等
7日(金)	休会
8日(土)	
9日(日)	
10日(月)	福祉文教委員会
11日(火)	建設委員会
12日(水)	総務委員会
13日(木)	市民環境産業委員会
14日(金)	休会
15日(土)	
16日(日)	
17日(月)	
18日(火)	本会議、一般質問
19日(水)	本会議、一般質問
20日(木)	本会議、一般質問
21日(金)	休会
22日(土)	
23日(日)	
24日(月)	本会議、委員長報告・質疑・討論・採決 追加議案の上程・説明・質疑・討論・採決 議員提出議案の上程・質疑・討論・採決等
25日(火)	

各常任委員会では付託された議案について、市当局と議員の間で次の質疑が交わされました。
(なお、本文は各常任委員会委員長が執筆したものを編集し、掲載しております)

総務委員会

委員長
三田部恒明

審査案件
議案第54・55・
66・67・74・75号
請願第2・3号

問 深谷赤十字病院負担金について、第3次救急医療圏内の市町村の負担額総額、深谷市の負担割合と残額はいくらかののか。

答 第3次救急医療圏内の市町村で16億1715万3千円を負担することとなっていますが、深谷市の負担額は、10億5115万1千円です。深谷市負担金については、高額であるため平成15年から26年度にかけ、分割して納めることになっていますが、その残額は利子を含め8億2545万4283円です。

問 拡充整備負担金は、合併前の旧市町にもあったが、合計したもののなか、新たな基準財政需要額等を基に算出したものなのか。

答 旧3町は、平成15・16年度で納めています。残額は旧深谷市分です。

請願第2号

意見 知事と業界の癒着等、全国各地で相次いで発生した不正の反

省のもと、埼玉県知事、市長会・町村会が出した「公共調達改革に関する共同宣言」でも示されているとおり、全国で一般競争入札の導入・拡大等、よりよい入札制度構築への取り組みが進められている。入札対象工事設計額の未公表、最低制限価格の公表などは、首長と業界の癒着につながる可能性がある。地元業者の育成を考慮していく必要があるが、本請願は不採択とすべきである。

請願第3号

意見 非上場株式等に係る相続税の減免についての拡充を図ること等、中小企業後継者の育成のため、大切にあり、本請願は採択すべきと考える。

議案第54・69・71・72・73・75号
請願第1号



福祉文教委員会

委員長
加藤 利江

審査案件
議案第54・69・
71・72・73・75号
請願第1号

問 盛年式の出席率が30%前後であるが、今後の実施について聞きたい。

答 盛年式の出席者等のアンケートでも大変よかったという意見をいただいております。30%の出席率を維持できれば引き続き実施してまいります。

問 福祉タクシー事業の利用状況について聞きたい。

答 利用対象要件にあった方に、年間24枚つづりのタクシー券を交付しており、利用する、しないは利用者の状況によるもので、100%は利用していない状況です。

問 花園給食センターと岡部給食センターの賃金・委託料には開きがあるが、違いを聞きたい。

答 岡部給食センターは、調理業務すべてを委託しており、臨時事務員を1名雇用しています。花園給食センターは、調理業務は、直営で行っており、正職員3名、臨時職員6名を雇用しているため、その違いです。

問 デイケア施設補助事業の支給基準を聞きたい。

答 身体障害者の施設と精神障害者の施設で基準が違っています。心身障害者デイケア施設は、重度障害者には、月額9万9600円、それ以外の方には、月額5万3100円を支給しています。精神障害者デイケア施設は、月額で1施設500万円の助成をしています。

請願第1号

意見 深谷市に在住する外国人学校・民族学校の児童生徒の教育の機会を制度的に保障するための教育助成に関する請願であるが、対象となる家庭の事情等、何点か調査していきたくため、継続審議としたい、との意見があり審査の結果、継続審査と決した。



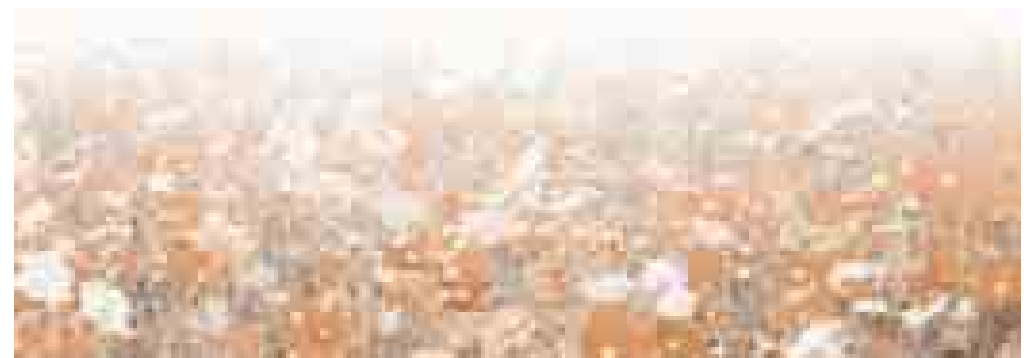
市民環境産業委員会

委員長
宇多村春恵

審査案件
議案第54・55・
56・62・67・68・
75・76・77号

問 砂ぼこり対策について総合的に考えていかなければできない問題であるが、考えを聞きたい。

答 担当部局において取り組んでいるが、作付けの問題等もあるため生産者と共に対策を考える必要があり。一歩でも二歩でも進む方向で対応してまいります。



建設委員会

委員長
柴崎 重雄

審査案件
議案第54・57・
58・59・60・61・
63・64・65・67・
70・75・78・79・
80号

問 電線類地中化事業で市街地の緑化という観点から街路樹をどの程度復旧するのか、基本的な考え方を聞きたい。

答 電線類地中化事業とあわせてバリアフリー事業を実施していますが、バリアフリー事業が終了しましたら、できるだけ元に戻します。

問 水道料金の未収金徴収対策について聞きたい。

答 まず、未納者に督促状を送付し、その後、はがきにより給水停止予告書を送付、それでも納めてもらえない場合は、給水停止の通知を持参し家庭を訪問します。それでもなお納めてもらえない場合は、やむを得ず給水停止を実施しています。それによりほとんど回収できています。なお、給水停止後は、人命にかかわることから何回か家庭訪問するなどのフォローを実施しています。

問 河川整備管理事業及び排水路管理事業の主なものについて聞きたい。

答 河川整備管理事業は、平成17年7月の水防法の改正により平成21年度までに洪水ハザードマップの作成義務が生じ、これにより平成20年度に総務部でこの作業を進めます。河川がはらんだ場合、どこほどの程度の洪水が生じるかについてのマップです。市の重要河川である唐沢川のはらんを想定した浸水想定区域図で600万円を予定しています。排水路管理事業は、東方地内の増田堀に3カ年でのふた掛けを行い、歩道化する継続事業です。当初予算では地元との調整が済んでいなかったため、今回の補正となつたもので



議 会 傍 聴 で 身 近 な 市 政 を

市議会本会議の傍聴は、どなたでもできますので、お気軽にお出かけください。
なお、傍聴席での本会議資料（20部）の貸し出しを行っております。

9月定例会

本会議傍聴者数

※議会の傍聴は定員40人、
常任委員会への傍聴は委員長の許可が必要です。

9月3日(開会・議案説明) ……	1人
9月6日(議案質疑) ……	1人
9月18日(一般質問) ……	60人
9月19日(一般質問) ……	30人
9月20日(一般質問) ……	10人
9月25日(討論・採決・閉会) ……	28人
合 計	130人

12月定例会の日程のお知らせ 11月30日▶12月20日

平成19年12月定例会は次の日程で午前9時から開催する予定です。

11月30日(金)	開会・議案説明
12月 3日(月)	議案説明
5日(水)	議案質疑
6日(木)	
7日(金)	建設委員会
10日(月)	総務委員会
11日(火)	市民環境産業委員会
12日(水)	福祉文教委員会
14日(金)	
17日(月)	一般質問
18日(火)	
20日(木)	討論・採決・閉会

※日程は変更になる場合があります。
詳しい内容は議会事務局（市役所3階）までお問い合わせください。
TEL 048(574)6662
FAX 048(574)6673
メールアドレス
gikai@city.fukaya.saitama.jp

市議会本会議録を閲覧できます

市議会本会議の会議録を一般公開しています。市議会でのような審議が行われたかを知ることができます。公開場所は、次のとおりです。

- 図書館
- 情報コーナー（本庁舎1階）
- 議会事務局

また、会議録は市のホームページでも閲覧できます。閲覧できるのは、旧深谷市の平成7年3月定例会以降、平成17年12月定例会まで、及び合併後、平成18年1月臨時会以降の会議録です。

議案の審議等、詳しくお知りになりました方はぜひご覧ください。

●市のホームページアドレス <http://www.city.fukaya.saitama.jp/>

戸田競艇が開催されます

現在、深谷市は埼玉県都市競艇組合に加入しています。その収益金の一部は、毎年構成市に配分され、市民の皆様の暮らしに役立っています。平成18年度は5千万円の配分金を受けています。

開催日程

11月1日(木)	11月6日(火)
11月10日(土)	11月13日(火)
11月16日(金)	11月19日(月)
11月29日(木)	12月3日(月)
12月6日(木)	12月9日(日)
12月13日(木)	12月17日(月)
12月29日(土)	1月3日(木)
1月6日(日)	1月9日(水)
1月12日(土)	1月15日(火)
1月18日(金)	1月21日(月)
1月31日(木)	

なお開催日程は予定ですので、変更になる場合があります。
詳しくは、埼玉県都市競艇組合
TEL 048-823-8711へ

編集後記



時がたつのは早いもので、私たち新人議員にとつては2回目の議会が閉会しました。今議会は、初めての決算審議や請願の審議など、盛りだくさん。とにかく勉強の毎日ですが、『市議会でどんなことが議論されているのかをわかりやすく伝える』ことをモットーに、先輩議員と共に活発に意見を交わし、市議会だよりを編集いたしました。新深谷市のため、一所懸命取り組みでまいります。今後の動きにご期待ください！

五間くみ子
江原久美子

編集委員会						
委員	副委員	委員	委員	委員	委員	委員
高田博之	柴崎重雄	清水健一	中矢寿子	五間くみ子	三田恒明	小川真一郎
江原久美子	須藤邦義	松本政義				